

農業体験を通して、子どもたちに動機付け (奈良県・安堵町農業委員会)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

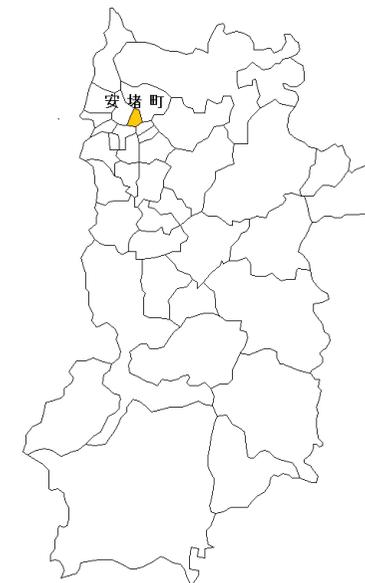
新規参入の
促進

その他(農業
委員会の体
制強化等)

1 地区の特徴・状況、課題

【農業委員会の体制】(令和2年7月20日移行)

○新体制:農業委員13人←旧体制:農業委員15人



2 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化の推進の取組と工夫)

○地区の特徴・状況、課題

・本地域は、奈良県の西北部を占める奈良盆地の中央よりやや西北部に、また生駒郡のなかにおいては東南部に位置し内陸性気候であり、農業経営は水稻を中心に野菜、イチジク、いちごの経営が盛んな地域である。

・若年層の担い手が少なく、担い手の高齢化と後継者不足が深刻である。また、それに伴う遊休農地の増加が懸念される。1次産業の中でも食料確保という重要な役割である『農業』の魅力を発信するための方策を考えていかなければならない。

3 活動(取組と工夫)の結果

○課題解決に向けた活動

安堵町農業委員会でサツマイモの作付けを行っており、令和4年度は、5種類のサツマイモを作付けした(なんと金時、紅東、紅はるか、安納芋、パープルスイートロード)。収穫期を迎えたサツマイモを、安堵こども園の園児、安堵小学校の児童に収穫体験として提供し、園児・児童が農業に少しでも興味を持ってもらうための動機付けを行うことができた。

今後も全国的な問題でもある、担い手の掘り起こし、遊休農地の発生防止、不作付け地の解消といった諸問題を解決するための方策を考えていかなければならない。